

安城市市民参加条例と協働に関する指針を考える上でのキーワード

メンバー	キーワード候補	キャッチフレーズ
みきちやん マーチヤン 灯台 きとちゃん	・環境・水・農業⇒取り入れていきたい ・組織と組織のつながり（協働） ・「自分のこと、家族のこと」だけでなく、＋αでもう少し他の人のことを考える ・環境首都安城を目指しているが、意外と知られていない。もっと広く知られるようになると良いな。 ・お互いに要望を言い合うだけではダメ ・（不法投棄が多い、など）声を皆に届ける良い方法はないか ・カメムシ、野焼きなど、当事者だから分かること。	PR
マーチヤン バンビ 庄太郎 カズ	・「市民参加と協働の違い」 ・「Love」 ・「自治」 ・「あんき会」のPR活動 ・協働まちづくり条例、まちづくり条例・・・、他の自治体ではいろいろな名称。安城市としての方向性は？ ・参加による条例の検討	自分たちのまちは、 自分たちでよくする
サリー TAKE CHAN MAN よしさん わんちゃん	・公募性を取り入れる ・市民参加でも同じ人が多い。裁判方式で選出 ・個人（市民のやる気） ・公募で出ても参加が少ない ⇒市がお願ひする人は経過が分かる ・任期の中でも替わることも必要、新しい人の意見も出してもらう、同じ人が長くやらない ・声無き声の思いの吸い上げが必要 ・人と人のつながりで進めることが必要 ・町内会もすっかりしているが、その一方でNPOも育てることも大切。 ・市民活動センターを活用して行く⇒いろいろな可能性がある ・啓発、ITを利用した啓発 ・顔と顔の会合も大切である⇒心をつなぐ	新しい人 声なき声 心をつなぐ

かずあきくん ふるちゃん 菰ちゃん くのさん	・話し合うこと ・グループ内の意見の交流 ・共感できること（相手の考えに） ・意見の違いはヒントになる ・思いが分かる ・相手の話をきく ・みんなが満足できる ・自分の気持ちを自分の言葉で話し合い、お互いが共感できる ・やさしい言葉で条例をつくる ・反論する発言をしない ・意見の相違はよいが否定してはいけない	自分の気持ちを自分 の言葉で話し合い、 お互いに共感できる
---------------------------------	---	-------------------------------------

じゅんちゃん ふかつちゃん たにちゃん いそくん	・フレンドリー、ハッピー⇒目標 ・まちづくり、ボラnteイアサポート ・地元協働が基本（そうじ、パトロール） ・市民参加は知恵、協働は汗、それ以外は手をたたく⇒手段 ・言った言葉に責任をもとう ・市民はみな家族、相手を想う ・協働は家族	目的：フレンドリー ハッピー 手段：知恵 汗 手をたたく！！
-----------------------------------	--	--

たけちゃん みーちゃん 池 リキさん 松チャン	・アンチエイジング ・安心して暮らせ、笑顔あふれる町 ・年がいてもなく大歓迎 ・協働に年齢は関係ない	協働に年齢は 関係ない！！ アンチエイジングで 笑顔あふれる 安心して暮らせる町
-------------------------------------	--	--

ナカchan いくらさん よこーてくん リョウサン ハセケン	・「多様な人々をまきこんで」 ・（互い）相手を理解する ・協働 ・幸せ ・協働は手段（目的でなく） ・相手の（対立する人の）意見をきく（傾聴）	幸せ
--	---	----

